

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	健康マイレージ事業(一般事務事業)					担当部	健康福祉部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般事業		担当課	保健センター				
	事業期間	平成27年度 ~					担当係	成人保健係				
	総合計画 新基本計画	施策等	2 保健・福祉		6 健康づくり		1 心と体の健康づくりへの取組みを支援します					
			重点事業		実施計画事業	○						
	予算区分	款	4	項	1	目	1	大	2	中	2	
	根拠法令・個別計画	健康こまきいきいきプラン										
	目的	何・誰を対象に	市民									
		どの様な状態にするのか	ポイント制度を実施することにより、健康づくりに関する意識を高めたり、検診受診率を向上を目指す。									
	内容(手段) 目的達成のため にどのような事業 を実施したか	<p>◆27年度実施内容 愛知県と協働し、健康づくりに取り組む(自主目標で実施、健診を受ける、健康講座等を受ける)とポイントがもらえる仕組みを実施した。 医療機関や関係団体にポイント付与の協力を依頼し、事業の周知を図った。 ポイントはあいち健康づくり応援カードまいにかに交換した。協力店で優待が受けれるようになるため市内で協力店の募集を行った。</p> <p>◆27年度直接経費の内訳 健康マイレージ事業パンフレット・シール印刷費(855千円) 健康マイレージ優待カード等郵送料(41千円) 消耗品費(28千円)</p> <p>◆28年度直接経費の内容 ウォーキングアプリ開発業務委託料、運用代行・保守支援委託料(10,796千円) 健康いきいきポイント達成者記念品等(5,210千円) 消耗品費、パンフレット、ポスター等印刷費、まいにか郵送費(2,664千円)</p>										
受益者負担	無											

コスト			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
	直接経費		千円			924	18,670
	正職員	従事者数	人			0.30	0.80
		人件費	千円	0	0	1,650	4,400
	その他職員	従事者数	人			0.00	1.00
		人件費	千円			0	445
	費用合計		千円	0	0	2,574	23,515
	対前年比		%	#DIV/0!	#DIV/0!	913.5	
	財源	一般財源	千円	0	0	2,574	23,515
		国・県支出金	千円			0	0
		その他財源	千円			0	0

事業番号	132
------	-----

業績	活動指標名	単位	H25	H26	H27	H28	
	市内健康づくり応援協力店数	店	目標			10	15
			実績			8	
	ウォーキングアプリダウンロード数	件	目標				-
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名	単位	H25	H26	H27	H28	
	健康いきいきポイントまいかけ交換者	人	目標			100	500
			実績			76	
	30歳～50歳代の健康いきいきポイント参加者数	人	目標			40	200
			実績			19	

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	開始1年目であり、実施期間が10月から2月の5か月間のため、市民に十分に周知できなかった。健康づくり応援協力店の実績がないため、広報で周知したり、通知を出したりしたが確保が困難であった。
	事業実施における課題	健康マイレージ事業について周知されていないため、ポイントシールをもらった市民が、どう利用すればよいのかわからなかったようである。多くの人が健康づくりに取り組むと健康が得られることとサービスが得られるというPRを強化していく必要がある。ポイントを貯めるには、ある程度の期間がないと、貯まる前に期間終了となってしまうので、期間の設定に気を付けていく。健康づくりの応援をしてくれる協力店をいかに増やしていくかが課題である。	
	基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むきっかけとしたり、持続的に取り組みができるような健康ポイント制度を導入することで市民の健康づくり活動の啓発に貢献している。	
平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	1)ウォーキングの項目を加えて事業を実施する。健康づくり取組みのインセンティブとしていち健康づくり応援カードまいにかに加え、プレミアム商品券(1,000円分)を加え魅力あるものとする。 2)実施期間を6月～3月上旬までと期間を延ばし、取り組みやすくなる。 3)ウォーキングアプリ利用者を増やすためにイベントを実施し、達成者にはプレミアム商品券や景品が抽選で当たる事業を実施する。 4)ウォーキングアプリの親しみやすいネーミングを募集し周知を図る。 5)広報や市民が多く集まる事業で健康いきいきポイント事業の周知を図る。	
平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	健康を得る以外のインセンティブがあることによって、健康づくりが継続してもらえる。参加実績をシートに記入する、ポイントを得るなど、自分の健康づくりが可視化されることにより、頑張ろうという意識を持つことができる。	
	29年度以降の改善案	各イベントや講座を健康いきいきポイントの対象事業にすることで、事業の参加者数の増加が見込める関係機関や団体に周知することで、健康ポイント事業を活性化させる。 初めての参加という人を増加させる工夫や仕組みを検討する。	

二次評価	方向性の判定	判定理由	
	維持	一次評価のとおり。	